

城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙

令和7年度2月号
SSH課発行

令和7年度 SSH 講演会

1月28日、第1、2学年の生徒を対象にSSH講演会が行われました。今年度は講師として、九州大学副学長、同大学大学院システム情報科学研究教授の井上弘士様にお越しいただき、「コンピュータをデザインする！～AI・スパコン・ロボットを支える計算機アーキテクチャ～」と題してご講演いただきました。

講演では、半導体の役割や、コンピュータの動作原理、コンピュータのデザインや、開発における課題についてもわかりやすく説明していただき、情報分野が得意な生徒もそうでない生徒も刺激を受けている様子でした。お話の最後には、「難しい」ことに取り組むことが成長につながるというメッセージをいただきました。

質疑応答の時間には、井上様の研究者としての姿勢に感銘を受けたというコメントをした生徒がいたほか、コンピュータに関する高度な質問もした生徒もいました。講演終了後も十数名の生徒が質問に訪れており、井上様が一人ひとりの質問に丁寧に向き合ってくださいました。



講演の様子



質疑応答の様子



生徒会長による謝辞

第1学年 【ESD 探究】 トライアルリサーチ

第1学年のESD探究では、12月から2月にかけて、初めての試みである「トライアルリサーチ」を行いました。トライアルリサーチでは、課題研究の根幹をなす「問い立て」、「研究手法」、「データの扱い方」についての学習と演習を行い、次年度の課題研究への理解を深めました。それぞれの学習では、改善が必要な例を示し、どのように改善するかを、生徒自身に考えさせました。生徒は、活発に意見の交流を行い、新たな視点も得ることができていました。また、「データの扱い方」については、実際に図や表を作成するという演習を交えながら、適切なデータの扱い方について学習を行いました。演習でも、周囲で教え合い、課題に積極的に取り組む姿が見られました。トライアルリサーチを通して、生徒は次年度の課題研究の流れを理解し、より深く探究を行うためにはどのようなことを意識すべきかを知ることができました。



データの扱い方に関する演習で、
周囲と協力しながら、図や表を作成している様子



アンケートについて、
改善が必要な点を周囲と協議している様子